

奨学金返済支援制度の取組状況について

1 要旨・目的

- 県内中小企業等における奨学金返済支援制度に係る取組状況について報告する。

2 現状・背景

- 学生の約2人に1人が奨学金を受給しており、従業員の奨学金返済支援制度を設ける県内企業を支援することで、採用力・定着率の向上及び人への投資に取り組む企業の増加を図っていく必要がある。
- 従業員の奨学金返済支援を行う企業に対する補助については、昨年度から補助率の引上げ、補助上限額の撤廃など、大規模な制度変更を行った。

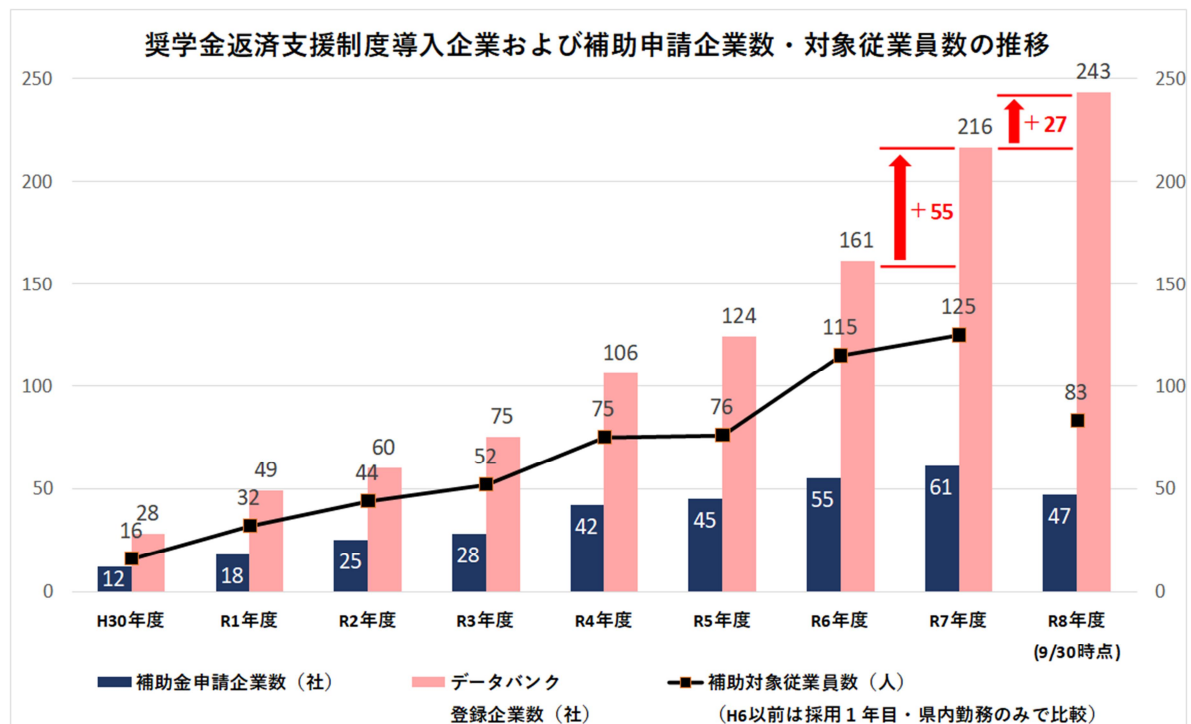
3 取組状況

	制度導入企業数	補助金活用企業
令和7年度実績	216 社	61 社
令和8年度目標	200 社	80 社
令和8年9月末時点の実績	243 社	47 社

※令和8年9月末時点の補助金活用企業の実績は、審査中のものを含む。

※「制度導入企業数」は県が従業員に対する奨学金返済支援制度を有していることを把握していて、「広島県奨学金返済支援制度導入企業データベース」において公表している企業の総数である。

「補助活用企業」は、支援制度を導入している企業のうち、補助要件を満たし、補助金の交付を実際に申請した企業数である。



- 「広島県奨学金返済支援制度導入企業データベース」の登録企業については、9月末時点で243社に達し、すでに来年度（令和9年度）の目標である240社を達成しており、制度に対する関心と制度導入の機運は昨年度から衰えておらず、順調に増加を続けている。

- 「令和 8 年度 Go！ひろしま奨学金返済支援制度導入企業応援補助金」の活用企業については、令和 8 年度目標の 80 社に対し、9 月末時点で目標の半数を超える 47 社に達し、順調に伸びており、補助対象従業員数も 83 人と昨年度同時期の 60 人を上回る水準で推移している。
- 支援制度及び補助金制度の企業に対する周知については、企業宛ての各種調査依頼の際に広報用チラシを同封しているほか、人手不足に悩む業界を中心に、関係部局と連携して、メールによる情報提供を行ったほか、個別説明会を実施して認知度の向上と活用の促進を図るなど、一層の広報に努めた。
- 求職者に対しては、就職活動を控えた学生をターゲットに、県の求人サイト「ひろしまワークス」と連携して、昨年度後半に制度導入企業特集を組んだほか、制度導入企業について詳細な情報を掲載するなど、周知拡大に取り組んだ。

4 今後の取組

- 導入企業の増加に向けては、業界団体等を通じて、制度導入のメリットや県の支援策の広報を引き続き行い、さらなる制度導入拡大や補助金の活用促進に取り組む。
- 学生等に対しては、大学で実施する業界研究講座などの機会を捉えて、奨学金支援制度のPR強化を図っていく。

5 予算（単県）

34,506 千円（債務負担行為 48,000 千円）

6 関連ホームページ

▼令和 8 年度 Go！ひろしま奨学金返済支援制度導入企業応援補助金のご案内

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/68/shogakukin-hensai-shien-hojokin.html>

▼従業員に対する奨学金返済支援制度導入企業（広島県奨学金返済支援制度導入企業データベース登録企業）一覧

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/68/shsk-list.html>